



5野党党首会談。左から2人目が志位和夫委員長。18日、国会内

成立阻止に結束協力

5野党党首会談

戦争法案の参院安否
法制特別委員会での強
行採決、参院本会議で
の緊急上程を受けて、
共産、民主、維新、社
民、生活の野党5党の
党首らが18日午前、今
後の対応をめぐって国
会内で会談しました。

5党は、①成立阻止の
ために最も効果的なタ
イミングで内閣不信任
案を提出すること、②
法案が可決されるかど
うかにかかわらず、こ
れからも憲法の平和主
義、立憲主義、民主主
義をしっかりと守って
いくために各党が協力す

ることの2点を確認
しました。

会談後の共同記者会
見で、日本共産党の志
位和夫委員長は「5党
がしっかりスクラムを
組んで、結束してた
かってきたことは、非
常に大きな意義があり
ます。院内外のたたか
いと連携して最後まで
力を尽くしたい」と表
明。また「今後も憲法
の平和主義、立憲主
義、民主主義を貫く政
治をつくるために結束
・協力していくという
内容が確認されたこと
はたいへんに大事だと

思います」と強調しま
した。
会見で志位氏は、特
別委員会での強行「採
決」について所感を問

9/19 旗

われ、「史上最悪の強
行です。議事録を見る
と『聴取不能』となっ
ています。何が発言さ
れたか全く聞き取れな
い、議事録に何も残っ
ていないという本当に
無法な採決劇です。き
ちんとした検証が必要
です」と指摘しまし

た。
各党も「有効に採決
が成立していたか極め
て疑わしい」（民主・
岡田克也代表）「手続
きに瑕疵（かし）がな
かったか検証しなけれ
ばならない」（維新・
松野頼久代表）と指摘
しました。